

「水際線サイン計画策定検討及びサインデザイン製作・設計業務委託」
提案書評価基準

表1 基本的評価事項

評価項目 (配点)	評価の着目点		配点	評価 (A～E)	評価点
業務実績 (25点)	会社	類似業務の実績	15		
	総括責任者	類似業務の実績	10		
業務実施 方針等 (30点)	体制の妥当性	業務実施に必要な実施体制を整え、業務遂行能力が高い体制か	15		
	工程の妥当性	契約期間内に仕様書の内容を満たす工程となっているか	15		
業務実施にあたって重視する視点 (40点)	理解度	本業務の趣旨及び目的を十分理解しているか	20		
	創造性・実現性	創造性・実現性が高い提案となっているか	20		
その他 (5点)	ワーク・ライフ・バランスに関する取組等	次世代育成支援対策推進法による認定の取得（くるみんマーク）、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定の取得、又はよこはまグッドバランス賞の認定の取得	5		
評点の合計（100点満点）					

(1) 業務実績については、A、C、Eの3段階評価を行う。

ア 類似業務

施設の象徴になるモニュメントの設計や、街の回遊性の向上に関するまちづくりの実績のうち、応募者が本業務と類似する実績と判断するもの。元請けとしての受注実績を対象とし、再委託による業務の実績は認めない。最新の実績を優先する。

(2) 業務実施方針等及び業務実施にあたって重視する視点については、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。

(3) その他については、A、Cの2段階評価を行う。

(4) 評価点について、次のように配点を行う。

配点にA = 5/5、B = 4/5、C = 3/5、D = 2/5、E = 1/5を乗じて算出する。

ア 業務実績

会社 配点 15点 A = 15点、C = 9点、E = 3点

統括責任者 配点 10点 A = 10点、C = 6点、E = 2点

イ 業務実施方針等

配点 15点 A = 15点、B = 12点、C = 9点、D = 6点、E = 3点

ウ 業務実施にあたって重視する視点

配点 20点 A = 20点、B = 16点、C = 12点、D = 8点、E = 4点

エ その他（ワーク・ライフ・バランスに対する取組等）

配点 5点 A = 5点、C = 3点

(5) 評価項目において、1項目でも評価がEとなった場合は選定しない。

(6) 採点と同点の場合は、上位者を決定させるために、評価事項のうち、以下の項目順で点数比較を行う。なお、上位者が決まった段階で、それ以下の項目での比較は行わない。

ア 業務実施にあたって重視する視点

イ 業務実施方針等

(7) 各評価項目の評価の視点は表2のとおり。

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点		評価				
			A	B	C	D	E
業務実績 (25点)	会社	類似業務の実績	類似する高度な実績がある(2件以上)	/	Aに該当しない	/	類似する実績がない
	総括責任者	類似業務の実績	類似する高度な実績がある(2件以上)	/	Aに該当しない	/	類似する実績がない
業務実施方針等 (30点)	体制の妥当性 業務実施に必要な実施体制を整え、業務遂行能力が高い体制か		提案内容に対して、十分な体制が配置され、業務遂行能力が高いと感じられる	提案内容に対して、必要な体制が配置されている	どちらもいえない	提案内容に対して十分な体制が配置されていない	提案内容に対して体制が不十分である
	工程の妥当性 契約期間内に仕様書の内容を満たす工程となっているか		計画性があり、今後の工程が見通せる内容である	計画性がある内容である	どちらもいえない	あまり計画性がある内容ではない	計画性がなく、今後の見通しが乏しい内容である
業務実施にあたって重視する視点 (40点)	理解度 本業務の趣旨及び目的を十分理解しているか		的確に理解している	理解している	どちらもいえない	あまり把握していない	把握していない
	創造性・実現性 創造性・実現性が高い提案となっているか		創造性及び実現性が高い	創造性及び実現性がある	どちらもいえない	創造性及び実現性が低い	創造性及び実現性がない
その他 (5点)	(4)ワーク・ライフ・バランスに関する取組等 次世代育成支援対策推進法による認定の取得(くるみんマーク)、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定の取得、又はよこはまグッドバランス賞の認定の取得		取得している、または認定されている	/	取得していない、又は認定されていない	/	/